



区議会だより

第186号

平成30年(2018年)4月25日発行 編集・発行 文京区議会

〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21 電話(3812)7111(区役所代表)

(5803)1312(区議会)

文京区議会ホームページアドレス <http://www.city.bunkyo.lg.jp/kugikai>

私たちは、いま議会改革に取り組んでいます

【表1】平成29年度補正予算(2月)

(単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計(第4回)	93,208,959	△1,532,180	91,676,779
国民健康保険特別会計(第2回)	23,846,654	△1,279,443	22,567,211
介護保険特別会計(第2回)	15,431,464	△247,360	15,184,104
後期高齢者医療特別会計(第2回)	4,972,308	△79,698	4,892,610
合計	137,459,385	△3,138,681	134,320,704

【表2】平成30年度当初予算

(単位:千円)

会計別	予算総額
一般会計	96,647,000
国民健康保険特別会計	19,382,000
介護保険特別会計	15,697,000
後期高齢者医療特別会計	5,087,000
合計	136,813,000

平成30年度予算決まる

今定例議会では、予算審査特別委員会を設置し、平成30年度当初予算案の審議を行い、一般会計などの4会計総額千368億円余の予算が成立したのを始め、条例制定、補正予算など区長提出の合計34議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、議員提出の意見書1件を可決しました。

なお、議案に対する議決結果と各会派の賛否を2面に掲載しています。

2月定例議会

議会期間 2月8日から3月22日までの43日間
 本会議第1日(2月8日)
 *区長から区政運営について施政方針が述べられました。
 *議員提出の6議案、区長提出の23議案及び請願5件の審査を、それぞれ所管委員会に付託しました。
 *19人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置

し、区長提出の平成30年度各会計の当初予算4議案の審査を付託しました。
 *議会運営委員会委員の辞任許可及び選任の報告を行いました。
 *特別委員会委員の辞任許可及び選任の報告を行いました。
 本会議第2日(2月13日)
 *代表質問(日本共産党、公明党、自民党……3面掲載)
 本会議第3日(2月14日)
 *代表質問(未来、市民の広場、日本共産党……3面掲載)
 本会議第4日(2月15日)
 *代表質問(自民党、未来……3面掲載)

2月19日~3月1日
 *特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。……(4面掲載)
 本会議第5日(3月5日)
 *区長提出の23議案を付託委員会の決定どおり可決しました。
 *区長提出の追加7議案の審査を所管委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。
 3月6日~14日
 *予算審査特別委員会で、平成30年度当初予算4議案を審査しました。……(2面掲載)
 本会議第6日(3月22日)
 *議員提出の意見書1件を可決しました。
 *議員提出の条例6件を否決しました。
 *区長提出の平成30年度当初予算4議案を付託委員会の決定どおり可決しました。

審議した案件

区長提出案件 24件(可決) 2件(可決) 8件(可決)
 議員提出案件 6件(否決) 1件(可決) 9件(採択3件)

請願

区長提出の追加7議案の審査を所管委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。
 3月6日~14日
 *予算審査特別委員会で、平成30年度当初予算4議案を審査しました。……(2面掲載)
 本会議第6日(3月22日)
 *議員提出の意見書1件を可決しました。
 *議員提出の条例6件を否決しました。
 *区長提出の平成30年度当初予算4議案を付託委員会の決定どおり可決しました。

3月臨時議会

議会期間 3月30日の1日間
 *区長提出の2議案の審査を所管委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。……(2面掲載)

区長提出案件

- ◎文京区基金条例の一部を改正する条例
子ども宅食プロジェクト基金を設置するものです。
 - ◎文京区住宅宿泊事業の運営に関する条例
文京区における住宅宿泊事業に関する基本的事項を定めるものです。
 - ◎文京区青少年プラザ条例の一部を改正する条例
青少年プラザの中高校生に係る施設及び附帯設備の使用料を無料とするものです。
- ※全ての議案は、2面に掲載しています。

会派の異動に伴い、委員会等の構成に変更がありました

●議員の会派変更(平成30年2月1日付け)

議員氏名	旧所属会派	新所属会派
高山 泰三	ぶんきょう未来	文京永久の会

●幹事長及び副幹事長の交代 会派名:文京永久の会(平成30年2月1日付け)

役職名	旧	新
幹事長	西村 修	高山 泰三
副幹事長	-	西村 修

●委員会構成の変更(平成30年2月8日付け)

委員会名	変更前	変更後
建設委員会	宮崎 文雄(委員)	宮崎 文雄(理事)
議会運営委員会	白石 英行(委員)	高山 泰三(理事)
議会広報小委員会	-	高山 泰三(委員)
意見書等調整小委員会	-	高山 泰三(委員)
自治制度・行財政システム調査特別委員会	高山 泰三(委員)	高山 泰三(理事)
地域振興・まちづくり調査特別委員会	西村 修(副委員長)	高山 泰三(副委員長)
	高山 泰三(理事)	上田ゆきこ(理事)
	上田ゆきこ(委員)	宮崎 文雄(委員)
地域包括ケアシステム調査特別委員会	松下 純子(委員長)	西村 修(委員長)

文京区議会は、会期をほぼ1年間とする、通年議会を実施しています

○通年議会の流れ
 毎年5月に区長の招集により開く「招集議会」で、翌年4月までを会期とする定例会が始まります。定例会中は、議長が6、9、11、2月に「定例議会」を、必要に応じて、「臨時議会」を開きます。
 また、常任委員会を定例議会中だけでなく、定例会のない月にも開催することで、区政の報告をタイムリーに受け、質疑を行っていきます。

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
招集議会	常任委員会	定例議会	常任委員会	常任委員会	定例議会	定例議会	定例議会	常任委員会	定例議会	常任委員会	定例議会

・定例会中、必要に応じ、議長がいつでも本会議を開き、災害や緊急的な課題に対応します。(臨時議会)
 ・定例会中だけでなく、5、7、8、1、4月にも、常任委員会を開催します。(原則25日に開催しますが、所管する委員会に報告事項がない場合は開催されません。日程については、区議会事務局までお問い合わせください。)

●招集議会は5月14日(月)に、次回の定例議会は、6月4日(月)から開かれます。詳細な日程は、区報、ホームページ、区設掲示板等でお知らせします。 ●議案・委員会資料、請願は、ホームページでご覧になれます。

予算審査特別委員会報告(要旨)

平成30年度当初予算案を審議するため、2月8日の本会議で19人の委員をもって構成された予算審査特別委員会は、委員長に橋本直和委員(自民党)、副委員長に品田ひでこ委員(未来)を選出し、3月6日から14日まで審査を行い、一般会計を始めとする4予算案をいずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

○総括質疑

問 30年度予算の特徴は。
答 歳入は、児童の保育委託の増等による扶助費の4.4%増、誠之小学校改築等による投資的経費の4.4%増等により、約71億円、7.9%の増となった。

歳入は、特別区税が2.6%増、国庫支出金が1.4%増となった。推移としては、特別区税が納税義務者の増、所得水準の伸び等により増加し、扶助費が社会保障関係経費の増等で6年連続で100億円を超える状況が続いている。

○一般会計―歳入(意見・要望)

①特別区民税については、カラフルな封筒による督促状の送付で、納付効果があった。今後も封筒の色や形に工夫を重ね、確実に納税相談へとつなげ、収納率向上を図ること。②商店街事業費補助金について、現場では対象経費の扱い等に苦労していることから、使いやすい補助制度になるよう、都に要望すること。

○一般会計―歳出(意見・要望)

①AI(人工知能)について、AI技術を活用する区内企業や大学と連携したAI活用を検討し、各課でデータ解析等へ活用して、業務改善や区民サービス向上につなげる。②避難所開設キットについて、町会からの練習要望に対応して活用を進めること。活動が活発でない避難所運営協議会には標準仕様を示し、活動に応じた変更を支援すること。③女性のエンパワーメント原則推進支援金について、SDGsに係る施策として周知し、SDGsに取り組み中小企業を支援すること。女性の起業支援に注力し、女性の活躍推進を多方向から促すこと。

予算に対する各会派の態度(要旨)

自民党

基本構想実施計画の着実な実施のために、歳出の適正な抑制と安定的な財政基盤を構築し、我が会派が委員会等で提案したサービス向上を図ったものと評価する。

公明党

30年度の一般会計は966億円の過去最大規模の予算となり、そのような中、子育て・教育施策、高齢者施策、まちづくり施策、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する施策等、優先度の高い施策を着実に実施することを評価します。

未来

待機児童対策や子供の貧困、超高齢社会への対応策など要望が予算化され進展があった。さらに、区立幼稚園の三歳児保育と預かり保育の定員拡大・時間延長やこども園化の前倒し、保育園の医療的ケア児のケアスペース整備、学校改築時の温水プール設置と地域開放、B1ぐる4路線化、重度訪問介護及び移動支援の支給の改善、総合体育館不具合の根本検証、シルバー人材センター体制整備支援等と採択した請願の確実な実現を付し、4会計全てに賛成する。

永久の会

日本人の東洋思想の原点に戻り、予防医学に努め、我慢強い、粘り強い子供を育て、区の歴史と伝統を後世に伝える安全安心で、更に魅力あふれる文京区の街づくりに努められるよう要望し、過去最大の予算を編成した成澤区長の榮譽を称え、愛と勇気の結束を誇る永久の会は、平成30年度全会計予算に賛成します。

市民の広場

子どもの貧困対策、高齢者や障害者の住宅確保、給付型奨学金創設等の取組は評価する。待機児童解消、介護保険外サービス充実、吹付アスベスト除去助成を求める。一般介護保険会計は賛成、国保後期高齢者医療会計は反対。

まちづくり

区の提案する予算案は、高齢化社会への対応、災害対策などが不十分であり、民間活力を活用する手法でみんなが主役となっていない。また、関連施策間のバランスを欠き、全体的に不十分なもの。4つの予算案に反対。

日本共産党

憲法と平和・民主主義、福祉増進、豊かな区財政の中で、都バス車庫跡地活用で待機児童解消や特養整備740床目標見直し増設を。子どもの貧困調査、育成室保育料据え置き、総合体育館の検証、B1ぐる新路線、店舗・住宅リノベーション助成、都営住宅移管、特別支援教室の教材費保障、区職員の仕事司書を、マイナンバー

国民健康保険特別会計

後期高齢者医療特別会計

介護保険特別会計

後期高齢者医療特別会計

平成30年2月定例議会 議案に対する議決結果と各会派の賛否

○賛成 ×反対 () は、議長を除く出席議員数

Table with columns: 付託委員会, 議案番号, 件名, 自(8), 未(7), 共(6), 公(5), 永(3), 市(2), ま(1), 結果. Includes sections for 区長提出議案, 総務区民, 条例, 厚生, 建設, 文教.

Table with columns: 付託委員会, 議案番号, 件名, 自(8), 未(7), 共(6), 公(5), 永(3), 市(2), ま(1), 結果. Includes sections for 予算審査特別, 厚生, 建設, 議員提出議案, 条例, 文教, 意見書.

※1~2 可否同数のため、議長において可否を裁決し、否決しました。

平成30年3月臨時議会 議案に対する議決結果と各会派の賛否

Table with columns: 付託委員会, 議案番号, 件名, 自(8), 未(7), 共(6), 公(5), 永(3), 市(2), ま(1), 結果. Includes section for 条例.

会派の略称：自…自由民主党文京区議団、未…ぶんきょう未来、共…日本共産党文京区議会議員団、公…公明党文京区議団、永…文京永久の会、市…市民の広場・文京、ま…みんなのまちづくり

代表質問(要旨)



日本共産党 国府田久美子

1月22日、区で実施されたミサイル避難訓練について

問 都心初の訓練だが、不安だけをおおる訓練に住民を駆り立てるのではなく戦争にならぬ外交こそ政府に迫るべき。

副区長 情報伝達があった際に、屋内避難等の対処法の周知が必要と判断し、実施した。外交は国が内外の情勢を踏まえ対応するものと認識する。

子どもの貧困対策の拡充を

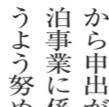
問 貧困による子どもの格差解消のため、「子どもの貧困対策条例」を制定し、子どもの貧困実態調査を行い、目標を決めて取り組むべき。

副区長 昨年度、関連部門の行政情報を活用した実態把握を実施し、30年度の重点施策として子どもの貧困対策事業を位置付け、様々な事業を実施していく。実態調査については調査・研究を行っていく。



民泊に関する条例について

問 6月施行の住宅宿泊事業法では「届出」だけで営業できるようになるが、事業者には近隣住民への周知のほか、説明会と協定書の義務付けを。副区長 条例案では近隣住民



日本共産党 板倉美千代

都バス大塚支所跡地の利活用について

問 福祉施設とともに、B1の効率的運用を図るため、ターミナル車庫として、区が借り受けることを提案する。

副区長 公募に向け、具体的な協議を都交通局と進めてきたところであり、当該提案を新たに協議に加える考えはない。

小日向二丁目関東財務局小日向住宅跡地について

問 保育園や公的住宅、住民が憩えるための緑のスペースの確保、敷地内北側道路を区道にといった地域の要望を真摯に受け止め、関東財務局と誠実に交渉することを求める。

副区長 予定している特別養護老人ホーム以外の活用は、擁壁や接道の状況等を踏まえて、建築可能な建物の規模等を確定し、近隣施設等の状況も考慮しながら総合的に検討する。



公明党 渡辺智子

乳がん対策について

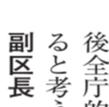
問 乳がん検診受診率向上を目指すため、日頃からの啓発に工夫が必要と考える。区のシンボルマークとピンクリボンデザインした「文京区版ピンクリボンピンバッジ」を作成し、ピンクリボン運動の認知と促進を図ってはどうか。

副区長 シンボルマークと組み合わせた啓発方法についても、今後検討していく。効果的な周知・啓発を行うことで、乳がんや検診についての正しい知識の普及につなげていく。

東京くらし防災について

問 女性の視点からの防災ブック「東京くらし防災」について、施設での配布にとどまらず、地域の中での防災リーダーである町会の婦人部の方々、民生委員などに直接配付できるようにしてはどうか。

副区長 地域住民への直接配付は、災害対策全体の中で研究していく。今後は避難所総合訓練等、様々な機会を通じ、冊子の活用を検討していく。



自民党 田中しかな

リカレント教育について

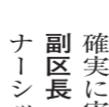
問 人生の過程を「自分を教育する時期」と「仕事をやる時期」に分け、必要に応じて生涯の間に繰り返すことを可能にするリカレント教育の実現に向けた対応と展望を伺う。

副区長 重要になってきていると認識しており、区民の多様なニーズに応じた「学び」の機会を提供していく。

「壁当て」の仕掛けで子どもにワクワクを

問 子どもの体力向上のため、校庭内や児童相談所用地、今後改修する公園等に、一人でも球技ができる「壁当て」の設置を。教育委員会が各所管を巻き込んで進めてほしい。

教育長 区長部局における公園再整備事業と連携をとりながら、球技ができる施設の増設や、その施設での「壁当て」設置も可能性を探っていく。



自民党 山田ゆみ

小・中学校にAIの導入を

問 学びの質の転換を図る指導法としてITやAIを活用すれば、学力格差の解消に役立ち、教員の負担も軽減する。AIの導入に前向きな検討を。教育長 今後、タブレット端末の配置を拡大させ、個別学習での活用方法を検討していく。

副区長 AIの導入は、国の検討状況等を踏まえ研究していく。

保育教諭資格の取得支援を

問 区立幼稚園については、早急なことも園化等による待機児童の吸収が求められている。保育教諭資格取得目標を100%とし、計画的に支援を。教育長 世代交代で、数年後には、ほぼ全ての保育士及び幼稚園教諭が両方の資格を持つと想定され、保育教諭として円滑に任用できると考える。

小石川地域にも病児保育を

問 病児保育は、本郷地域への偏在が指摘されている。小石川地域の春日・後楽園駅前地区市街地再開発事業の医療モール構想の中で事業実施を。区長 当該再開発事業において、病児・病後児保育施設も含め、公益性向上に資する施設の導入について、検討が進められていると聞いている。



自民党 宮崎文雄

危険管理について

問 東京ドーム周辺で行われた、都内初の弾道ミサイルを想定した、国民保護計画に基づく避難訓練の成果と反省点は。区長 非常時の安全確保の面で有益であった。会場の関係で参加者限定のため、今後は適切な避難行動を区民へ広く周知することが必要と考える。

交通アクセスについて

問 江戸川橋駅の石切橋側は、階段のみの設置となっており、エスカレーターの導入を以前から要請している。東京メトロの検討状況について伺う。区長 江戸川橋駅はエレベーターによるバリアフリー化が確保されている。エスカレーターを増設等は用地買収や構造上の検討等を行う必要があるため、引き続き整備に向けて検討すると聞いている。

柔道や組体操等における事故及び部活動について

問 本区では、柔道や組体操等の学校事故は起きているのか。また、いわゆるブラック部活動に対する見解を伺う。教育長 29年度に、骨折等の重大事故は柔道・組体操ともに起きていない。中学校の運動部活動の指導は、今後示される国等のガイドラインに基づき、在り方を検討していく。



日本共産党 田中和子

市民の広場

問 施設建設等の中長期的な計画は、3か年の実施計画の

範囲でしか分らない。施設等の更新とそれに伴う財政計画、基金の適正規模を区民に明らかにすることを求める。

区長 改築時期や経費は施設や社会経済等の状況の影響を受けるため、具体的な計画策定等は困難。施設ごとに基金以外の財源も活用するため、基金残高の適正規模は定めていないが、各予算編成段階で基金の状況等を明らかにする。

災害時に派遣する職員向けマニュアルの整備について

問 平時の男女共同参画の課題が災害時に現れる。応援に派遣する職員には、説明会や派遣者用マニュアルを整備し、その内容に男女共同参画の視点を盛り込むなどの工夫を。区長 災害時の応援・受援等の各業務に関するマニュアルの整備が必要と考えている。今後、マニュアルの検討を進めるに当たり、男女共同参画の視点を取り入れていく。

ケアラー支援について

問 介護やケアを担うケアラー(無償の介護者)が孤立しない地域づくりを進め、誰もがその人らしく暮らせる地域社会をつくるために、区の施策にケアラー支援を位置付けることを求め、見解を伺う。区長 地域福祉保健計画に課題として位置付け、どのような手法が効果的な支援につながるか、ヤングケアラー等の実態調査実施も含め検討する。

基金の適正規模について

問 施設建設等の中長期的な計画は、3か年の実施計画の

範囲でしか分らない。施設等の更新とそれに伴う財政計画、基金の適正規模を区民に明らかにすることを求める。

区長 改築時期や経費は施設や社会経済等の状況の影響を受けるため、具体的な計画策定等は困難。施設ごとに基金以外の財源も活用するため、基金残高の適正規模は定めていないが、各予算編成段階で基金の状況等を明らかにする。



委員会活動

常任委員会

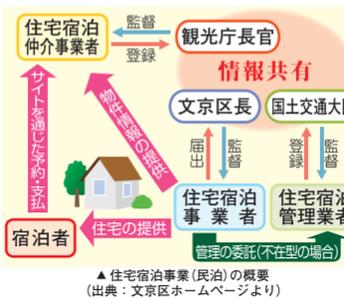
2月定例会議の議会期間のほか、1月25日に総務区民・文教委員会を、3月30日に厚生委員会をそれぞれ開催しました。

総務区民

1月25日 報告事項2件
2月28日・3月1日 報告事項7件
3月5日

報告に対する主な意見等

●文京区住宅宿泊事業の運営に関する条例の制定に当たっては、区民の生活環境の悪化を防ぐため、関係部署が連携しながら準備を確実に進めていくこと。また、宿泊者の記憶に区の良い印象が残るような取組も併せて検討すること。



▲住宅宿泊事業(民泊)の概要(出典:文京区ホームページより)

●文京区男女平等参画推進計画の推進状況については、地域活動団体や各審議会等への参画に依然として男女の偏りが多く見られる。今後、計画に掲げた目標を達成するため、ダイバーシティ推進担当から男女平等参画の必要性を直接伝えるなどの工夫を図ること。
●文京スポーツセンターのリニューアルオープンに伴い、スポーツ多目的室が新設される。原則として、事前に団体登録をしている方の利用とな

●は、審査の過程で出された主な意見・要望です。

土曜に受診できる医療機関の周知で受診率を向上させ、区民の健康づくりを進めること。

建設

2月26日 報告事項6件
報告に対する主な意見等

厚生

2月23日 報告事項5件
3月5日
3月30日 報告事項1件
報告に対する主な意見等

地域福祉保健

●地域福祉保健において、民生・児童委員は、地域ニーズの多様化により業務量が増え、負担感が大きいとの声がある。委員が課題を抱えずきないよう、所管課や高齢者あんしん相談センターに迅速につなげる体制を築くこと。
●心のバリアフリーについては、障害の理解を深めるため作成した「かるた等」が学校で使われている。今後は、学校からの啓発授業の要望に協力し、更に啓発を進めること。



●国民健康保険第1期データヘルス計画(案)等は、医療費の適正化と健康の保持増進を目標としている。取組として、ジェネリック医薬品は国目標の使用率80%に向かって、薬剤師会等と十分連携を取り、使用促進に取り組むこと。
また、歯科検診や糖尿病性腎症重症化予防に注力し、特定健診は区独自の健診項目や

文教

1月25日 報告事項3件
2月22日 報告事項12件
報告に対する主な意見等

建設

2月26日 報告事項6件
報告に対する主な意見等

厚生

2月23日 報告事項5件
3月5日
3月30日 報告事項1件
報告に対する主な意見等

地域福祉保健

●平成29年度東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果については、全ての教科において都を上回った。課題である、正答数が少ない児童・生徒に対しての支援と併せて、正答数が多い子どもを更に伸ばしていく指導にも取り組んでいくこと。
また、経済格差が教育格差とならないよう、全庁的な連携を図っていくこと。
●中学校特別支援教室の実施については、指導に当たる教員が、各学校を巡回する体制となる。他校へ通級していた生徒や保護者の移動等に係る負担が減少するが、これまで

議会運営委員会

1月31日、2月8日・21日、3月5日・22日・30日に開催しました。

【主な報告事項】
・平成30年度予算案について
【主な協議事項】

特別委員会

自治制度・行財政システム調査

2月19日 報告事項1件
報告に対する主な意見等

●新たな行政評価では、基本構想における各分野の将来像の実現に向けて、「中間アウトカム(具体的に目指すべき状態)」を設定し、これに基づいた評価を行うことになった。
評価作業が過度な負担とならないよう、効率的な評価体系を構築し、職員が仕事の目的や課題を明確に捉えること、確実に事業改善へと結び



の通級指導の形を続けたいという希望がある場合は、生徒の実態、保護者の意向を十分に受け止めた上で個別に検討し、柔軟に対応していくこと。
●子ども・子育て支援事業計画の改定については、私立認可保育園の増設が見込まれる運動可能な園庭の確保のために、幼稚園の園庭の活用等、教育委員会、幼稚園と連携し、調整を進めていくこと。

災害対策調査

2月19日 報告事項3件
報告に対する主な意見等

●熊本地震の状況と区の災害対策の現状を踏まえ、他自治体からの応援職員の受入体制や、情報伝達、避難所における要配慮者への対応等の課題の整理と検討を行った。この検討の成果を、今後予定されている地域防災計画等の修正に確実に反映させていくこと。
●30年度より運用が開始される臨時災害FM放送局については、必要な時に必要な情報が届くよう、マニュアルの整備に努めること。また、平常時は運用しないため、周波数を事前に周知できない課題がある。開局が決定し、周波数の割当てを受けた際には、SNS等だけでなく、避難所の掲示板等も使いながら確実な周知に努めること。



付けること。また、中間アウトカムを通して他課の事業との関わりを示すことで、組織横断的な連携を促すこと。
さらに、評価の仕組みが区民にとっても分かりやすいものとなるよう、評価シートが導入される。使用方法を動画にして区のホームページに掲載するなど、日頃からこのキットの周知を行い、混乱の中でも的確に避難所の開設ができるよう努めること。

地域振興・まちづくり調査

2月20日 報告事項3件
(1)研究会の開催

「地域産業の現状分析で政策課題を考える」をテーマに、駒澤大学経済学部教授の吉田敬一氏を講師に迎え、研究会を開催した。持続可能な地域経済づくりや、グローバル化時代における中小企業の役割変化、文京区の産業政策上の課題等について講義を受け、活発な質疑を行った。

●「避難所開設キット」が導入される。使用方法を動画にして区のホームページに掲載するなど、日頃からこのキットの周知を行い、混乱の中でも的確に避難所の開設ができるよう努めること。



●「避難所開設キット」が導入される。使用方法を動画にして区のホームページに掲載するなど、日頃からこのキットの周知を行い、混乱の中でも的確に避難所の開設ができるよう努めること。
●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた取組について、スポーツセンターが公式練習会場の候補となっているが、具体的な受入れに当たっては、施設を利用する区民等へ、利用制限がかかる期間等についての情報の周知を行うこと。

地域包括ケアシステム調査

2月20日 報告事項1件
報告に対する主な意見等

●介護予防の担い手として、介護予防・日常生活支援総合事業の区独自基準サービスをを行う者は、区が研修により育成している。現状は、サービスの利用者及び受講者共に少ないが、今後、研修の受講者を増やし、利用しやすいサービス基準も検討していくこと。

●社会福祉協議会では、地域福祉コーディネーターが地域の課題を見付け、フミコムが区や様々な担い手とのつながりを創出して解決につなげている。こうした仕組みがより円滑に機能するよう、区は日頃から関係者との顔の見える関係づくりに努め、地域課題の迅速な解消に寄与すること。

●介護予防では、心身機能の改善だけでなく、役割や目的を持つて生活することも大切である。区が活動の場でお願している様々な役割を改めてPRするとともに、地域での支え合いづくりでも新たな役割の創出を検討すること。



委員会会議録速報版をチェック!
文京区議会 速報版 検索
会議録の「速報版」を、各委員会開催日から3週間程度でホームページに掲載しています。